

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 1 日

事業名称		コミュニティバス等運行事業費[コミュニティ交通運行事業（導入事務）]									
予算科目	款	8	土木費	項	3	都市計画費	目	1	都市計画総務費	事業番号	6
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	都市計画課 計画調整係					課長名	梅山 直人				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	4 - 4		
【施策名】 道路・交通の整備								総合計画書 (ページ)	89		
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 コミュニティ交通の導入の機運がある地域				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 地域数						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 地域住民及び運行事業者と協働で地域に相応しい持続可能な コミュニティ交通（コミュニティタクシー）を導入する。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 新たに試行運行を実施した地域数						
	→										
③ そのために何をしましたか。 地域検討組織及び運行事業者と協議を行う。 交通管理者、道路管理者、関東運輸局等と調整を進める。	→				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 検討組織との協議回数（2地域：湖畔地域・芋窪地域）						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標		令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	地域	2	2	2					
	成果指標	②の数値	地域	0	1	0					
	目 標	②の目標値	地域	—	1	1		0		1	
目標値設定の考え方 令和4年度に芋窪地域の試行運行実施を目指す。											
活動指標	③の数値	回	15	38	8						
3 経費	事業費（実績）		円	0	5,061,501	3,148,095		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	0	2,552,501	2,163,095					
		特定財源（国・都・他）	円	0	2,509,000	985,000					
		（うち受益者負担）	円	0	0	0					
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	1.5	1.5	1.5					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	12,366,000	12,465,000	12,570,000					
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	12,366,000	17,526,501	15,718,095						
4 環境変化等	(1) 開始年度 平成27 年度										
	(2) 環境の変化 新型コロナウイルス感染症の影響等により、交通機関の利用者が減少している。										

事業名称	コミュニティバス等運行事業費[コミュニティ交通運行事業（導入事務）]			
担当部署・課長名	都市計画	課	計画調整	係 課長名 梅山 直人

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	芋窪地域については、試行運行の実施時期の延期について要望が寄せられている。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：⑧その他（地域検討組織と計画段階から協議を行っている。）		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	・湖畔地域については、本格運行移行の目安である乗車人数70人/日に対し乗車人数実績が18人/日で、新型コロナウイルス感染症による影響もありやや低調な滑り出しであった。運行基準を達成するために地域と協働で更なる利用促進策を検討・実施していく必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 ・湖畔地域については、地域検討組織と協働で試行運行結果を総括した結果、本格運行への移行は行わず、地域に相応しい交通手段のあり方についての調査研究を行うこととなった。 ・芋窪地域については、地域検討組織と試行運行の実施に向け協議を重ねたが、新型コロナウイルス感染症の影響等を鑑みて令和4年度まで見送ることになった。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ・新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつ、芋窪地域の試行運行の時期を検討・調整する必要がある。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 道路・交通の整備 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・令和4年度の芋窪地域での試行運行の実施に向け、地域検討組織と協働で利用促進策等の検討を進めていく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、地域検討組織との打ち合わせの際には、持ち回りや書面会議などの工夫が必要である。			